

<箕面市立 多世代交流センター>

1. 目的・役割

地域活動の拠点として高齢者の健康づくりや生きがいづくり、子育て中の親子のサポート、地域住民の活動支援など高齢者から子どもまで「世代を超えたふれあいの場」を創出します。

またおひさまルームひじりでは、子育て中の親子が気軽に集い、楽しく自由に過ごせる出会い・交流・学びの場を提供するとともに、子育てが孤立しないよう寄り添います。

2. 重点項目

◆目標利用者数

令和7年度目標	令和6年度実績(見込)	令和5年度実績	令和4年度実績
55,000 名	50,000 名	46,320 名	40,550 名

◆サービスの充実と質の向上

- ・入館時のカードリーダーシステムを一新し、利用者がより一層スムーズに入館できるように改善します。
- ・今後とも日祝以外の喫茶メロディーの営業を維持し、利用者がいつでも飲食できる環境を提供していきます。また週2回(水と金)のパン販売も続けていけるように努めます。

◆地域社会に対する取り組み

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止や規模縮小をせざるを得なかった地域に開かれた魅力のある取り組みを再開・発展させていきます。
- ・昨年に続き、センターまつり、軽音グランプリ、ウィンターコンサート、盆踊り、作品展などのイベントを創意工夫して全面実施し、ご利用者の期待に応えていけるように努めます。
- ・今年度も募金支援を視野に入れて「ふれあいフリーマーケット」をよりスケールアップさせて継続していきます。

◆福祉人材の育成と職場環境の整備

- ・おひさまルームの職員を対象に外部研修受講などの機会を設け、子育て支援に関わる一層のスキルアップを図ります。

◆財務基盤の強化へ向けた取り組み

- ・竣工以来 10 年以上が経過し、施設修繕の必要箇所も目立ってきており、メンテナンス費用の増加が懸念される所です。箕面市との情報共有・連携を密にとり、予期せぬ災害や支出に備えます。
- ・無駄な光熱水費の出費がないかなど日常的に注意を払い可能な限りの節約に努めるとともに、貸館事業や駐車場事業での収入増を図ります。

◆その他

- ・2024 年 3 月 23 日の北大阪急行延伸により船場地区の開発がすすみ環境は大きく変化し、オレンジゆずるバスの路線等にも変更がありました。近接に位置しているセンターとしては、環境変化の影響を受けつつも地域に一層開かれた拠点施設としての役割を果たしていきます。